

公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー
平成 28 年度 事業計画

各事業の主な取組

1 新規対象国を含めたアジアからの誘客の拡大

- ターゲット市場にあわせたセールス・プロモーション
- 外国人クルーズ乗船客増加に向けた取組
- 航空会社との連携事業による誘客の推進

2 国際コンベンションを核とした MICE の誘致

- 2020 年以降のコンベンション情報収集及び誘致の強化
- 海外企業インセンティブの誘致
- 市内大学研究者とのネットワーク強化

3 横浜の魅力を活かした国内誘客の拡大

- 「横浜秘密の思い出プラン」のコンテンツ強化及び魅力発信
- 修学旅行を主軸にした横浜のセールス・プロモーション

4 国内外からの来訪者へのおもてなし

- 訪日外国人受入環境の整備
- 事業者連携による案内機能の強化

5 観光・MICE 都市 横浜の広報

- ウェブサイト、SNS などデジタル広報による発信の強化
- 外国語ウェブサイトによる情報発信

2019 年ラグビーワールドカップ及び 2020 年オリンピック・パラリンピックを
見据えた取組 ※本文、★印箇所参照

- 2019 年・2020 年を見据えた イベントを活用した賑わいづくりと広域連携等の強化

【海外誘客事業】 =アジアからの誘客の拡大=

アジアからの誘客を主体とし、訪日実績の伸びが顕著で今後も拡大が見込まれる台湾、中国、マレーシア、インドネシアに対して、それぞれの国、地域の来訪者に効果的な手法でセールス・プロモーションを展開すると共に、新たにベトナムの市場開拓に着手し、その他はメディアや情報発信での事業を展開します。

クルーズ客対応は、旅行会社やランドオペレーター（※）に実際に横浜の魅力を体験してもらう機会を設け、乗船客の横浜滞在を促進するため、横浜での和の体験コンテンツの開発に取り組みます。また、横浜プラスαの魅力で外国人来訪者の満足度を創出するため、広域的な連携による、新たな観光ルートづくりに取り組みます。

※ランドオペレーター；宿泊や観光地、飲食店や交通手段など「地上手配」を専門に行う会社

1 ターゲット市場に合わせたセールス・プロモーション

(1) 重点対象国での取組

国・地域	取組方針	手法	具体的取組
台湾	FIT (個人客)のうち若年、ファミリーに向けたプロモーション強化	(1) 関係者招聘	旅行会社、メディア、ブロガー等の招聘 [時期調整中]
		(2) 見本市出展等	・Touch The Japan(日本観光文化エキスポ)出展 開催地 台北 [7月15日～7月18日] または ITF(台北国際旅展)出展 開催地 台北 [11月4日～11月7日] ・インセンティブ商談会またはセミナー 開催地 台北(予定)
中国	FITのうち富裕層、中間層に向けたプロモーション	(1) 関係者招聘	メディア(雑誌またはテレビ)招聘 [時期調整中]
		(2) 見本市出展等	WTF(上海世界旅行博覧会)出展 開催地 上海 [5月19日～5月22日] ※横浜市上海事務所との連携
マレーシア	認知度向上を目指したプロモーション	(1) 関係者招聘	旅行会社及びメディア招聘(各1回) [4月～9月]
	「横浜=ムスリムフレンドリーな都市」の浸透	(2) 見本市出展等	航空会社 AirAsiaX との連携による FIT 向けプロモーション
インドネシア	認知度向上を目指したプロモーション	(3) 既存メディアの活用	財団ウェブサイト ムスリム情報ページでの最新情報の発信
		(1) 関係者招聘	旅行会社、メディア等招聘 [10月～12月]
	「横浜=ムスリムフレンドリーな都市」の浸透	(2) 見本市出展等	インセンティブ商談会またはセミナー 開催地 ジャカルタ(予定)
		(3) 既存メディアの活用	財団ウェブサイト ムスリム情報ページでの最新情報の発信

(2) 新規対象国に向けた活動

国・地域	取組方針	手法	具体的取組
ベトナム	認知度向上を目指したプロモーション	(1) 関係者招聘	メディア、ブロガー等の招聘 [時期調整中]
		(2) 見本市出展等	・夜景サミット 2016in ベトナム出展 ・出展に合わせた現地旅行会社商談会 開催地 サイゴン [7月27日]
フィリピン	認知度向上を目指したプロモーション	(1) 関係者招聘	メディア、ブロガー等の招聘 [時期調整中]
		(2) 既存メディアの活用	外国人目線での動画コンテンツによる魅力発信

(3) その他対象国に向けた活動

国・地域	取組方針	手法	具体的取組
韓国	企業インセンティブ旅行への取組を拡大	(1) 関係者招聘	・旅行会社または企業インセンティブのキーパーソン招聘 [時期調整中] ・観光庁、JNTO 等と連携したメディア受入 [時期調整中]
		(2) 既存メディアの活用	韓国語ウェブサイトでの最新情報の発信
タイ	富裕層及び中間層の FIT 誘致を目指したプロモーション	(1) 関係者招聘	観光庁、JNTO 等と連携したメディア受入 [時期調整中]
		(2) 既存メディアの活用	タイ語ウェブサイトでの最新情報の発信
香港	FIT 及び SIT(特定目的型旅行)に訴求する体験型素材の情報発信	(1) 関係者招聘	観光庁、JNTO 等と連携したメディア受入 [時期調整中]
		(2) 既存メディアの活用	・繁体字フェイスブック及び繁体字ウェブサイトでの最新情報の発信 ・外国人目線での動画コンテンツによる魅力発信
シンガポール	FIT 及び SIT に訴求する体験型素材の情報発信	(1) 関係者招聘	観光庁、JNTO 等と連携したメディア受入 [時期調整中]
		(2) 既存メディアの活用	・英語フェイスブック及び英語ウェブサイトでの最新情報の発信 ・外国人目線での動画コンテンツによる魅力発信

2 外国人クルーズ乗船客増加に向けた取組

取組方針	手法	具体的取組
クルーズを取扱う船会社及び旅行会社向けのプロモーションの強化	(1) 具体的な商品セールス	旅行会社または企業インセンティブのキーパーソン招聘 [時期調整中]
	(2) 関係者招聘	クルーズ取扱旅行会社向けファムツアーの企画実施 [時期調整中]
	(3) オプションルツアー造成	クルーズ乗船客に訴求する和の体験コンテンツ、体験型素材の開発
市内滞在促進のためのメニューづくり	市内事業者との連携強化	横浜駅を中心とするショッピングツーリズムの取組支援

3 航空会社との連携事業による誘客の推進

取組方針	手法	具体的取組
Air Asia X のネットワークや顧客訴求力を活用したプロモーションの実施(3年目)	(1) 関係者招聘	・Air Asia X の航空券を取り扱う旅行会社を招聘 ・Air Asia X が提携するメディアを招聘
	(2) 印刷物、映像による露出	ファミリー向け観光施設 PR 用パンフレットの製作
	(3) 広告出稿	ファミリー向けに訴求効果の高いウェブメディアに出稿
	(4) 既存メディアの活用	フェイスブック利用者が多いマレーシア及びインドネシアでの PR



4 広域的な連携による新たな誘客ネットワーク構築 ★

2019 年ラグビーワールドカップ及び 2020 年オリンピック・パラリンピックを見据え、ビジット・ジャパン(VJ)地方連携事業等も活用し、従来の枠組を超えた広域でのプロモーションを強化します。

連携先	VJ 申請内容
関東(足利、富岡、川越、飯能等)	日本シルクロード(Silk Road Around Tokyo)の認知度向上事業 ◆
関西(神戸、奈良)及び関東(川崎、千葉、日光等)	夜景、イルミネーションと食(グルメ)をテーマとした誘客事業 ◆
東北(仙台等)	マレーシア、インドネシアへの広域モデルコース提案による誘客強化 ※東北運輸局採択事業

◆ビジット・ジャパン地方連携事業申請中案件

5 事業推進連絡会 ワーキングの活動

インバウンド全般の推進に向けた包括的な取組を推進。

定期会合年 4 回程度

※16頁参照

【MICE 誘致・開催支援事業】 =国際コンベンションを核とした MICE の誘致=

MICE 誘致においては常に国内外他都市との競合を意識し、横浜の強みを活かした活動を、27 年度に引き続き実施します。

2020 年春に開業予定のみなとみらい 20 街区の新施設への MICE 誘致を見据え、27 年度に実施したリサーチに基づき、横浜での開催可能性の高い中大型国際会議案件へのセールスを強化します。

海外企業インセンティブ誘致では、市内ホテル等関係者との連携のもと、現地セールスのほか、ランドオペレーターとの商談会を開催します。

また、将来の MICE 主催者発掘につながる市内大学・研究機関関係者とのネットワークを構築し、新たな国際会議の掘り起しに努めます。

1 2020 年以降のコンベンション情報収集及び誘致の強化

事業項目	具体的取組
誘致可能性案件の情報収集(リサーチ)	2020 年以降の開催案件のうち ・中大型国際会議誘致のための案件調査 ・市内の会議施設や大学での会議開催実績等の関連情報の収集
リサーチ結果に基づく個別セールス	リサーチ結果のうち、横浜開催の可能性の高い案件について、キーパーソンの洗い出し、直接セールス活動を展開

2 海外企業インセンティブの誘致

事業項目	具体的取組
アジア、国内で開催されるインセンティブ商談会、セミナーへの参加	・JNTO 主催の海外で開催される商談会への参加 開催地 ジャカルタ、台北 [上期予定] ・Visit Japan MICE マートへの参加 開催地 東京ビッグサイト [9 月 24 日～25 日]
市内での商談会の開催	アジアからのインセンティブを取り扱うランドオペレーターを対象とする商談会の企画、実施 [下期予定]
キーパーソン招聘	訪日インセンティブを取り扱う海外現地の旅行会社及びクライアント(企業)の招聘(2 回程度) [下期予定]

3 市内大学研究者とのネットワーク強化

事業項目	具体的取組
大学別説明会開催	市内大学のうち、具体的にコンベンション主催実績または可能性のある研究者の在籍する大学(横浜市立大学、横浜国立大学、神奈川大学等)で、財団の誘致・開催支援についての説明会を企画 [年 3 回程度]
大学向け PR の実施	教職員を対象とした学内の媒体や研究者向けの専門誌での広報



横浜国立大学での説明会



横浜市立大学の給与明細を利用した教職員向け MICE 広報

4 MICE 誘致活動

事業項目	手法	具体的取組
中大型国際会議 (Convention)の誘致	海外トレードショーへの出展	<ul style="list-style-type: none"> IMEX2016 への出展 開催地 フランクフルト [4月19日～21日] iBTM World への出展 開催地 バルセロナ[11月29日～12月1日]
視察受入、キーパーソン招聘	(1) 誘致段階案件への対応	個別コンベンション主催者、コア PCO への視察機会の提供
	(2) JNTO 事業への参加	国際会議キーパーソン招請事業(Meet Japan)参加 [時期未定]
国内主催者との協働事業	(1) 誘致段階案件への対応	2023年7月国際自動制御連盟総会誘致のための関連会議での協力 開催地 イスタンブール [6月]
	(2) 横浜開催決定案件のPR活動支援	2017年10月世界肺癌会議への参加者獲得に向けた横浜大会PRの協力 開催地 ウィーン [12月]
海外ネットワークの拡充	MICE 業界団体との交流	ICCA 国際会議協会総会参加 開催地 クチン(マレーシア)[11月12日～16日]
国内におけるセールス活動	(1) 国内関係者向け訪問セールス	主要大学研究者、学協会関係者へのセールス
	(2) 主催者ほか関係者への横浜最新情報の提供	横浜 MICE 説明会(主催者、PCO 等を対象とした MICE 開催に関わる横浜の最新情報提供の機会)の企画、実施 [上期予定]
	(3) 国内トレードショーへの出展	国際ミーティングエキスポ(IME)出展 会場 パシフィコ横浜 [12月6日～7日]
市内事業者の MICE 振興の取組への支援	(1) エリア MICE の活動支援	山下、横浜駅周辺、新横浜等、エリア毎の MICE への取組を支援
	(2) 市内開催件数の増加支援	パシフィコ横浜と連携して誘致案件情報を共有し、開催件数増加につながる誘致活動を支援

5 MICE 開催支援の取組

事業項目	手法	具体的取組
横浜 MICE 開催応援プランの企画運営	市内で MICE を開催しやすくするための支援プログラムの提供	MICE 全カテゴリーの主催者を対象に、開催規模等に応じ、主催者負担を軽減するためのサービスや現場で必要となる物を提供 [メニュー例] ・コンgresバッグの提供 ・アトラクションの手配 など
コンベンション・サポーター制度の運営	市民のスキルやノウハウを活用した支援プログラムの提供	[派遣例] ・会場内インフォメーションデスクへの派遣 ・日本文化紹介プログラムへの協力 など

[サポーター派遣予定コンベンション]

会議名称	会期	規模(名)
第19回国際細胞学会議	5月28日～6月1日	5,000
第26回ゴールドシュミット会議	6月26日～7月1日	4,000
第31回国際心理学会議	7月24日～29日	7,000
第16回国際疼痛学会議	9月26日～30日	4,000

6 MICE 誘致のための継続的な情報発信

取組方針	手法	具体的取組
MICE 開催都市・横浜の最新情報の発信	既存メディアの活用	財団ウェブサイト コンベンションページのコンテンツの拡充、最新情報の更新
MICE 都市・横浜のブランディング	“Japan’s First Port of Call”の浸透	財団ウェブサイト コンベンションページをはじめ、トレードショー、商談会等さまざまな情報発信機会を捉え、統一イメージとして浸透強化



財団ウェブサイト コンベンションページ

7 事業推進連絡会 ワーキングの活動

市内 MICE 関連事業者との連携により、横浜 MICE 説明会や商談会を実施 年 3 回程度
 ※16頁参照

【国内誘客事業】=横浜の魅力を活用した国内誘客の拡大=

「横浜秘密の思い出プラン」は、過去3年間の実績及び課題を踏まえ、横浜らしさを堪能できる特別感のあるコンテンツを発掘、商品化し、魅力発信及び集客に努めます。

国内誘客セールスでは、修学旅行の誘致活動を主体に、体験型コンテンツのPRも含め、横浜の魅力を伝えるための地方セールスを、北海道、北陸に加え、九州、四国で開催します。

また、集客力のあるイベントの活用などにより、市内、近隣都市からの誘客を図ります。

1 「横浜秘密の思い出プラン」のコンテンツ強化及び魅力発信

「体験型観光資源開発ワーキング(新設予定、仮称)」による事業者との連携強化

事業項目	具体的取組
訴求力のあるコンテンツの発掘及び活用	<ul style="list-style-type: none"> ・既存コンテンツの見直し ・期間限定で提供できる特別感のあるコンテンツの発掘
事業者との連携による首都圏での認知度向上を目指した広報の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・都内での情報発信拠点の開拓 ・鉄道事業者等との共同プロモーションの推進



[スケジュール案]

実施項目	時期(見込)
27年度事業報告会	5月
実施計画策定	5月末
共同事業者選定	6月以降
28年度事業の実施	8月～3月

2 修学旅行を主軸にした横浜のセールス・プロモーション

(1) ターゲット地域での教育旅行、団体旅行、個人旅行のセールス強化

事業項目	具体的取組
ターゲット地域でのセールス活動	<ul style="list-style-type: none"> ・実績及び地域の送客動向に基づくターゲット地域選定 ・北海道、北陸、九州、四国の旅行会社、教育旅行関係者への訪問セールス

(2) 重点地域 北海道でのセールス活動

ターゲット地域の中で、修学旅行による来訪者が増加している北海道からの誘客を一層促進するため、セールス機会を年3回に増加。うち1回を「横浜教育旅行誘致推進協議会」に参加している事業者と連携し、現地旅行代理店との商談会を実施します。



横浜商談会 in 石川・富山

[地方セールス予定]

時期	4月	6月	7月	7月	8月	9月	11月	2月
エリア	鹿児島 宮崎 大分	北海道	横浜商談会 in 北海道	福岡 長崎 熊本	愛知 岐阜	北海道	富山 石川	愛媛 香川 徳島

(3) 修学旅行誘致

事業項目	手法	取組内容等
修学旅行誘致促進 事業助成金制度	23年度開始制度 の一部改正(助 成金額の変更)	・期間:旅行催行時期 28年4月～29年3月 ・助成対象要件: 中学校または高等学校の修学旅行 延べ90人(泊)以上の宿泊を伴うもの 鉄道、航空機、またはバスを利用するもの 市内宿泊1泊以上かつ市内見学2か所以上のもの ・助成金額:30,000円
修学旅行マーケットの 横浜での受入実態の 把握	修学旅行横浜宿 泊校数、宿泊人 数調査の実施	市内ホテルでの受入件数等実績調査 ・調査依頼:28年5月(予定) ・集計、分析:28年6月(予定)
教育関係者や旅行代 理店向けのセールスツ ーの作成	横浜「学習・体 験」ガイドの改訂	・制作部数 20,000部 ・体裁、仕様 A5判両面4色刷り 40ページ ・配布開始 28年11月～

3 横浜旅行商品造成事業 による旅行商品の造成支援

旅行会社を対象として、横浜への送客を期待できる新たな旅行商品の開発を促進する事業に対して、資金の助成及び広報協力を行います。

4 横浜観光プロモーション認定事業

横浜の集客力を高め宿泊や周遊を促進する事業や、横浜への来訪者の満足度を高める事業、横浜の都市ブランドを向上させる事業の提案を募集し、大きな効果が期待できる事業を認定、支援する横浜観光プロモーション認定事業を、継続実施します。



[認定に関するスケジュール案]

回数及び認定対象	募集期間	審査会予定
第1回 28年4月1日以降実施される事業の認定	28年2月3日～3月3日	28年3月14日
第2回 28年10月1日以降実施される事業の認定	28年8月1日～8月31日	28年9月中旬開催

5 「事業者連携企画創出事業」による連携の推進

横浜の観光プロモーション、集客に役立つ事業を財団と賛助会員事業者が連携して実施し、資金の助成及び広報協力を行います。

公募開始 4月

6 イベントを活用した集客の推進

事業項目	具体的取組
イベント関連情報の発信による集客の働きかけ	市内で開催される主要なイベント、さまざまな取組や魅力を季節ごとに整理し、ウェブサイト、SNS 等で適時適切に情報発信し集客を推進
イベントを核とする回遊性強化の取組	観光施設、飲食施設、宿泊施設等と連携し、イベントを目的に来訪する観光客の市内滞在時間の延長を促進
集客イベントを活用した地域の賑わいづくりや経済活性化の促進★	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会への参画 ・広報協力等の支援 [支援対象案] 2016 世界トライアスロンシリーズ横浜大会 28年5月14日～15日 横浜スパークリングトワイライト 2016 28年7月16日～17日 横浜音祭り 2016 28年9月22日～11月27日



世界トライアスロンシリーズ横浜大会



横浜スパークリングトワイライト

7 事業推進連絡会 ワーキングの活動

横浜教育旅行誘致推進協議会の運営のほか、体験型観光資源開発をテーマにしたワーキングの立ち上げ

※16頁参照

【来訪者支援事業】=国内外からの来訪者へのおもてなし=

インバウンドでの来訪者の増加に対応し、2019年ラグビーワールドカップ及び2020年オリンピック・パラリンピックを見据えて、市内事業者の方々の関心や意欲に応じていくために、具体的な対応策の提示や地域を巻き込んだ取組に着手します。

取組の柱となる多言語対応の拡充については、27年度から賛助会員向けに提供を開始した多言語対応支援ツールの活用促進や、飲食店メニューの多言語化支援に取り組めます。

市内直営観光案内所及び民間観光案内所の再構築により案内機能の充実を図るほか、東京を中心とした市外での横浜情報の発信強化のため、地図やガイドブックなど印刷物の見直し、情報入手場所の開拓を行い、誘客につなげます。

1 訪日外国人受入環境の整備

事業項目	手法	具体的取組
多言語対応の拡充★	(1) 飲食店のメニュー多言語化支援	メニューを多言語に翻訳するシステムの活用
	(2) 市内施設の多言語表記の統一推進	27年度に整備した市内観光施設等の対訳語一覧(4か国語)の更新 [上期]
	(3) 国土交通省制定「観光活性化標識ガイドライン」記載例の活用の推進	言語に頼らない外国人来訪者対応策の一環として、ピクトグラム(絵文字、絵標示)使用の促進
	(4) 市内事業者の受入環境整備の取組支援	商店街などでの外国人受入のため、多言語対応策(多言語表記、場面別会話例集、音声翻訳)の活用の促進
訪日外国人対応の推進	セミナー等の企画実施	市内事業者を対象とした訪日外国人対応のスキルアップセミナーの企画実施 [10月予定]
訪日外国人向けツールの開発	横浜インバウンドパス(仮称)の企画、試行	国際会議参加者向け実験事業の実施 [上期]

2 事業者連携による案内機能の強化


事業項目	手法	具体的取組
民間事業者と連携した観光案内体制の充実	直営観光案内所を補完する案内拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・新横浜駅、横浜駅、桜木町駅周辺以外のエリアでの案内体制を確立するため、民間観光案内所として必要な条件を整備し、事業者を公募 ・郊外区での案内拠点の新規設置 ・案内業務支援用基本情報「おもてなしマニュアル」の提供による案内の質の向上
市外での情報発信の強化	東京をはじめとする市外事業者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者が市外で横浜情報を入手できる拠点の開拓(都内主要ホテルなど) ・情報入手場所での横浜観光パンフレット等の配布

3 国内外からの来訪者への観光案内の充実

事業項目	手法	具体的取組
観光案内所サービスの機能強化	(1) 多言語対応の強化	直営観光案内所(横浜駅、桜木町駅、新横浜駅)での、英語以外の言語で対応可能なスタッフの配置
	(2) 手ぶら観光の推進	横浜駅近辺の施設でのクローカーサービスとの連携 [下期]
	(3) ICT ツールの活用促進	民間事業者開発の市内観光ルート検索または自動音声翻訳ツールの活用

4 観光案内資料の制作及び支援

来訪者(観光客)の使い勝手や必要とする情報掲載を優先し、「横浜ビジターズガイド」を、地図版とガイドブック版の2種類に改訂。

制作物・種別	言語	観光地図版	ガイドブック版
横浜ビジターズガイド (6言語)	日本語	3万部	1万部
	英語	11万部	2万部
	韓国語	2万部	5千部
	中国語簡体字	3.5万部	5千部
	中国語繁体字	3.5万部	6千部
	タイ語	2万部	4千部
事業者制作支援・種別 ※いずれも日本語版のみ			
旅うらら; A4判、28ページ冊子	来訪者向け	10万部(予定)	
はまっぷワイド; A3判、裏表1枚	来訪者向け	30万部(予定)	

【事業者支援・人材開発事業】

1 おもてなし体制強化のための民間事業者、NPO、市民団体等への支援

事業項目	手法	具体的取組
関連産業事業者向け受入環境整備のノウハウの提供	研修や市外事業者向け横浜のPR機会の企画実施	<ul style="list-style-type: none"> 市内の関連施設を対象としたホスピタリティ研修 [6月予定] 東京をはじめとする市外事業者向け横浜見学会 [11月予定]
関連産業事業者、団体の自主事業への支援	各分野の事業者、団体が企画実施する事業を支援	<ul style="list-style-type: none"> タクシー事業者、団体への支援 市内大学生による観光ルート開発 訪日外国人向け多言語対応 市内観光施設等の連携調整

2 来訪者支援 受入環境整備ワーキング

受入環境整備強化に向け、事業者との連携による取組を推進。

定期会合年4回

[想定テーマ案]

翻訳システム等の活用を核とする多言語対応強化及びコンテンツの収集による発信

※16頁参照

【広報事業】=観光・MICE 都市 横浜の広報=

横浜への誘客を目指し、ウェブサイト、SNS、パブリシティのそれぞれの特性を活かし、訴求力、伝播力を拡大した情報発信により、国内観光客に留まらず、訪日外国人の増加に役立つ広報プロモーションを展開します。

特に、外国人目線で制作した動画の発信による誘客、横浜の隠れた魅力を取り上げた読み物ページによる発信等により、再訪意欲の促進と新たな横浜ファン獲得を図ります。

また、時季に合わせた発信、ツーリスト目線による楽しみ方の提案、観光親善大使の広報力の活用等により、市内外へ横浜の魅力や最新情報を発信します。

1 ウェブサイト、SNS などデジタル広報による発信の強化

事業項目	手法	具体的取組
ウェブサイトとSNSを併用した情報発信	(1) ウェブサイトの運営	【運営言語】 日本語 英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語、タイ語
	(2) SNS の運営	【導入済み】 フェイスブック(日本語、英語、中国語繁体字) 中国ブログ微博(ウェイボー)、ツイッター 【導入検討】 インスタグラム



財団ウェブサイト(日本語)

2 外国語ウェブサイトによる情報発信

事業項目	具体的取組
中国語サイトリニューアル	27年度のサイト分析に基づき、中国語ネイティブに必要とされる情報(ショッピング、グルメ等)の内容を拡充 [8月]
外国人目線での動画コンテンツ拡充	来訪意欲を喚起する、外国人の着眼点での横浜の魅力を伝える動画(27年度導入)に、四季毎の魅力的なコンテンツを追加(4本)
影響力ある外部サイトとの連携	トリップアドバイザー等の口コミサイトや旅行先選定に影響力を持つサイトとの連携
多文化に対応した情報発信	ムスリム圏からの来訪者に役立つ情報発信など、外国人来訪者の受入環境向上のための情報発信
ラグビーワールドカップ 2019 特設ページ開設★	横浜で決勝戦が行われる2019年のラグビーワールドカップに関する特設ページを英語サイトに開設し、海外のラグビーやスポーツファンに対して横浜の魅力を発信 [上期]

3 日本語ウェブサイトによる情報発信

事業項目	具体的取組
横浜の隠れた魅力を発信するコンテンツの拡充	大人の横浜での過ごし方を読み物で提案する新設サイト「横浜大人スタイル」に新たなコンテンツを追加
季節に合わせた旬な情報発信	時季に合わせた特集ページ等で、旬で話題性の高い情報を発信
影響力のある外部サイトとの連携	口コミサイト等、旅行先選定に影響力を持つサイトとの連携
ラグビーワールドカップ2019 特設ページ開設★	横浜で決勝戦が行われる2019年のラグビーワールドカップに関する特設ページを開設し、様々な情報を発信 [上期]

4 パブリシティの推進

事業項目	手法	具体的取組
海外メディアへの情報発信の強化	(1) 海外向けプレスリリースの配信	海外メディアへの配信実績のあるニュース 配信会社を活用した情報発信 [年4回]
	(2) 外国特派員向けプレスツアーの実施	在京外国特派員等を対象に、話題性の高い施設の視察やインタビューを実施し、海外の媒体での記事掲載を促進 [年1回]
市内広報担当者及びメディアとのネットワーク強化	(1) 市内事業者向け広報PRセミナー、ワークショップの企画実施	最新の広報PRのトレンドや先進事例を学ぶセミナーやワークショップを実施、オール横浜での広報連携強化 [年2回(予定)]
	(2) メディアとの連携強化	主要メディアのキーパーソンとの人的ネットワークを構築し、タイミングを捉えた情報提供により、横浜のメディアでの露出を促進
横浜観光親善大使によるPR	(1) 開港五都市交流イベント等、国内他都市、他地域での情報発信	長崎[4月下旬]、神戸[5月下旬]、函館及び新潟[8月上旬]の開港記念イベントや他都市主要百貨店催事等に合わせたPR
	(2) 初入港外国客船歓迎等話題性の高い催事への対応	初入港外国客船の歓迎のほか、ザ・よこはまパレードをはじめとする主要イベント等でのPR
	(3) メディアでの露出	パブリシティ対応でのテレビ、ラジオ、新聞等各種メディアでの露出機会を増やし、横浜のPRを推進



外国特派員向けプレスツアー



横浜観光親善大使のメディアへの露出（毎日新聞）

【賛助会員との協働】及び【財団経営】

27年度に実施した賛助会員満足度調査の結果を踏まえ、賛助会員企業をはじめとする民間事業者の方々のニーズに応える事業を展開することで、「頼られる組織」を目指します。特に、2019年ラグビーワールドカップ及び2020年オリンピック・パラリンピックに向けた事業者の方々の期待や対応状況を把握し、横浜として取り組むべき事項の検討、地域を巻き込んだ機運づくりなどに注力します。

また、頼られる組織の基盤となる職員の人材育成に努めると共に、財政状況の改善に向け、自主財源獲得に取り組めます。

1 賛助会員(事業者)との連携

(1) 賛助会員交流機会の充実 【参考】賛助会員数 583 事業者 (28年3月31日見込)

会合種別	開催時期(予定)	具体的内容
事業概要発表会、 賛助会員交流会	28年4月21日(木) (予定)	財団の事業計画、重点課題や横浜市所管課の年度計画等の説明会及び交流会
賛助会員会員の集い、 優良従事者表彰、交流会	28年11月中下旬 (予定)	賛助会員に対する謝意を表す機会として、永年に亘り観光及びコンベンションの振興に功績のある方の表彰及び交流会
新規賛助会員説明会 交流会	28年7月、29年2月 (予定)	新たに入会した賛助会員向けの説明会や参加者相互の名刺交換

(2) 会員との連携強化

事業推進連絡会の運営 【参考】登録者数 164社282名(28年2月29日現在)

会合種別	開催時期(予定)	具体的内容
賛助会員事業推進連絡会 ※任意登録の会員による情報交換の場	28年6月、12月 (予定)	賛助会員相互の情報交換、共有、交流の場

財団と事業者の連携による課題解決の取組として、テーマ別ワーキングの活動を活性化。

ワーキング区分	活動テーマ	具体的取組(予定)
海外誘客;インバウンド	インバウンド全般の推進	市場の傾向把握等をテーマとした勉強会、海外及び国内での商談会
MICE	MICE、主にアジア諸国のビジネスミーティングの横浜誘致	国内外での商談会参加、セールス活動勉強会など
来訪者受入環境整備	多言語対応の推進等	多言語対応強化のための翻訳システム等の活用
国内誘客	観光資源の発掘、商品化	体験型観光資源の開発及び活用
	修学旅行誘致の活性化	修学旅行誘致推進協議会として、修学旅行誘致に関わる情報共有

(3) 観光・MICE 関連情報の提供、会員事業活動の共有

市や国の観光施策、賛助会員の事業活動や観光・MICE 関連の市内動向等の情報を収集、財団ウェブサイト会員ページや会員向けメールマガジン等により提供。

2 中期計画に基づく事業推進

(1) 計画年度 27年度～29年度

(2) 主な取組

事業別	評価指標	27年度 目標	27年度 見込	28年度	29年度
国内誘客; 重点地域を中心とした セールス活動	重点セールス地域の拡大	北海道 北陸	北海道 北陸	北海道 北陸 九州	北海道 北陸 九州 四国
海外誘客; 重点地域でのプロモー ション強化	外国人宿泊者数(人泊)	230,000	集計中	260,000	300,000
MICE 誘致・開催支援; 中大型 MICE(1,000 人 以上)誘致強化	1,000 人規模案件誘致の 開催提案書提出件数(件) [うち2020年以降開催案件]	12 [2]	12 [4]	14 [7]	16 [10]
来訪者受入;市内観光 施設の多言語対応支援	観光施設の多言語対応率 (%)	60	集計中	70	80
広報;海外広報	海外メディアでの掲載数 (件)	1,000	1,000	1,100	1,200

参考：横浜市との協約（協約期間 27年度～29年度）

主要目標 公益的使命の達成に向けた取組のみ抜粋

協約項目別	26年度 実績	27年度 見込	29年度 目標
市内大学・研究機関での国際会議(※)開催件数 ※パシフィコ横浜等で開催される中大型国際会議以外の案件	31	51	46
インセンティブ誘致成約件数 (件数または合計参加人数)	***	***	20 件 または合計参加人数 2,000 人以上
賛助会員数 (事業者数)	528	583	570

3 組織運営

(1) 財務の改善

財務の自立性の高めるため、自主財源獲得のための取組を展開。

事業者同士のニーズをつなげるコーディネート機能の強化による負担金収入、ウェブサイトや SNS、印刷物の広告枠等を活用した事業収入、会員数の増加による会費収入の増加など。

(2) 人材の育成

新たな人事評価制度の浸透を図ると共に、研修等の徹底により、賛助会員をはじめとする事業者のニーズに対応できる意欲ある職員を育成。